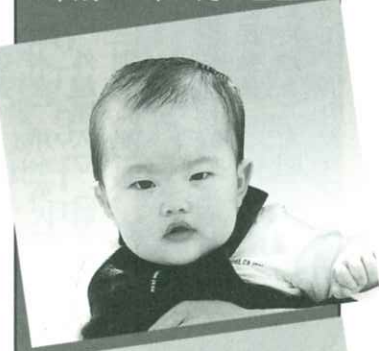
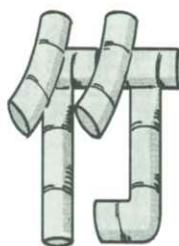


1歳で～す
毎月1番に
生まれた赤ちゃん
しん かい せ な
新改星南 ちゃん
かん な
葉南 ちゃん
平成15年5月6日生



父 将士・母 留美さん
(上向中)

- 好きな食べ物
・くだものが好きです。
・ごはんが好きです
- 両親から
二人とも元気にすくすくと
育って欲しい。



の
質問箱 (82)

**熱帯産竹の
盆栽づくりは？**

山崎 男性45歳

盆栽用に重宝されている熱帯産の竹には、ホウライチク（きんちく）、ホウオウチク（こぎんちく）、スホウチク（しまぎんちく）、ベニホウオウなどがあります。

竹が生育環境によって姿を変える性質を利用して、平鉢によるミニ仕立てで楽しめます。熱帯産竹の植栽の適期は5月で、この時期ですと挿しても良く活着します。

挿し竹には2年生竹を使います。斜め挿しの場合の挿し穂は、節の上部2cm、下部7cmで切断し、芽や枝を上向きにして挿す。挿し穂の頭が土中にかくれるまで挿すと3〜4週間で発根発芽してきます。平挿しは、鉢の長ささ

どに切った挿し穂を枝方向を横向きにして、挿し穂がかくれるぐらいの土をかぶせます。

一方、株分けの場合は、前年発生した1年生竹を竹株より切り離して枝葉を剪定したのを使います。いずれも、2〜3本を寄せ植えると熱帯地方で見られる竹林のミニチュアが楽しめます。挿し竹は、その年は芽や枝だけが生長しますが、翌年からは地中部にある地下茎部分にある芽が生長して、

株元に筍が多く発生するので、成竹後の枝葉の剪定により、上品な竹の盆栽ができあがります。

平鉢は、角型でも円型でもよいですが、鉢の辺りの壁が垂直の方が根の張りが良く、縦30cm、



ベニホウオウの盆栽



ホウオウチクの寄せ植

横20cm、深さ10〜20cmあれば十分です。用土は、畑土と川砂（シラス）、腐葉土の同量を混合し、肥料は油カス玉1個を置肥にします。鉢上げが終わったら2週間は風の当たらない日陰に置き、夏は直射日光を避けて日陰に置き、冬は北風を避けた暖かい場所か、明るい室内に置くと安全です。暑い夏の間は乾燥しやすいので、毎日の灌水が必要です。

ちくりん指導官 浜田 甫

健康だより

**『ハンセン病って
どんな病気？』**

ハンセン病はかつて「らい病」と呼ばれた、感染力の極めて弱い病原菌による皮膚と末梢神経の病気（感染症）です。

日本においては戦前・戦後を通じ、患者に対して施設入所政策など誤った政策がとられたため、患者やその家族に極めて厳しい苦痛を与えたとともに、多くの人がこの病気に対して強い偏見をもつことになりました。

症状としては皮膚の表面に結節（こぶ）や斑紋などが生じ、末梢神経が冒されることによる知覚障害が起こることで、外見上に特徴的な障害が生じることがあります。しかし、現在では有効な薬剤により確実に治る病気です。

【らい予防法】は平成8年に廃止されましたが、残念ながら偏見や差別は完全に払拭されたとは言えないのが現状です。ハンセン病に対して正しい知識をもち、この病気にかかった人々が当たり前に共存できる社会を築いていかなければなりません。